

年中組の砂場

砂場で今年はじめて、裸足になる。
足裏を感じるくすぐったさに
思わず笑顔と笑い声が広がる。



暑くなってくると、水にも入りたくなる。
もっと欲しくなって「お水ちょうだい！」って言ったら、
友達が応えてくれた。

「つぎわたしも」
「じゃあ、次はわたしがくんでくるね」

附属幼稚園の白砂は水加減で感触が変わる。
「トロトロ」「プニプニ」「ペチャペチャ」…
感じ方も子供たちそれぞれ。

でも友達が「タポタポ」って言うと、
「ほんまや、タポタポや」って思っちゃうから不思議！



陽ざしの強い日は日よけの parasol も咲く。
parasol がかかってない日なたの水に入った友達の
「ここ、あったかい」の声。
「入らせて… え、なんであったかいの～！」

日なたと影を行き来する子供たち…
自分たちなりに感じて、考えて、
言葉を紡ぎだしています。